

2. 支え合いの暮らしを応援！

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために



介護人材確保事業

【所管課】
福祉部 高齢介護課
【事業費】
370万円（令和8年度当初予算）

この事業について

介護人材不足は極めて深刻な課題です。厚生労働省の試算によると、2026年度は約25万人、2040年度には約57万人の不足が見込まれています。

逗子市は、この危機的状況に対応するため、介護人材における処遇改善・職場環境向上を国・県と共に推進しながら、次のとおり独自の取り組みを展開しています。

身体介護に従事する介護人材の確保では、初任者研修等の経費を助成することで受講を促し、市内介護事業所へ新たに就労した者には報奨金を支給して定着を促進します。さらに介護事業所の採用経費を支援し、採用環境を強化しています。

介護支援専門員（ケアマネジャー）の確保では、法定研修の受講に係る経費を助成し、専門性維持と継続就業を支援します。

これら重点的な取り組みにより、逗子市は多様な介護ニーズに対応した在宅生活支援体制の維持を目指します。

寄附の使い道（例）

使途	内容
介護施設及び事業所等人材確保事業	介護事業所等の採用経費の補助
介護職員研修等受講助成	身体介護業務に必要な研修経費の助成
介護事業所等就労支援補助	市内介護事業所等に新たに一定期間就労した者への報奨
介護支援専門員法定研修受講助成	介護支援専門員が定期的に受講が必要な研修経費の助成

この事業で逗子の在宅支援生活はどう変わる？

- ・ 介護人材確保事業の推進により、介護人材の確保と定着が進み、高齢者は住み慣れた地域で質の高い介護サービスが受けられるようになります。これにより地域全体の福祉基盤も強化されます。
- ・ 高齢者が地域で尊厳を持って生活できる環境が整備されることで、若年層も含めた全世代が安心して暮らせる真の意味での地域共生社会が実現し、逗子市全体の活力と持続可能性が向上します。

★ 介護の担い手を支えることが、逗子の未来を拓きます！

2. 支え合いの暮らしを応援！

がんと向き合う人を応援したい



がん患者支援事業

【所管課】

福祉部 国保健康課

【事業費】

125万円（令和9年度以降実施予定）

この事業について

逗子市では、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせるよう、地域全体で支え合う地域共生社会の実現を目指しています。

その一環として、がんと向き合う方が地域で自分らしく生活できるよう、特にAYA（思春期・若年成人）世代の皆さんへの支援を強化します。40歳未満の末期がん患者の方が、住み慣れた自宅で最後まで安心して自分らしい生活ができるよう、在宅生活に必要な経費の一部を補助し、患者とその家族の負担を少しでも和らげ、より自分らしい時間を過ごせるようサポートします。

また、年齢を問わず、がん治療に伴う外見の変化に悩まれる方へヘアピランスケアの支援を行い、外に出かけることや社会とのつながりに安心感を持てるよう、心に寄り添った環境づくりを進めます。

寄附の使い道（例）

用途	内容
若年がん患者在宅療養支援	若年末期がんの在宅療養に要する経費の助成
ウィッグ・胸部補正具購入助成	治療に伴い、ウィッグ・胸部補正具が必要な方への助成

この事業でがんと向き合う人の生活はどう変わる？

がんと向き合う人が病気になっても自分らしく生きられる環境を地域で創出する挑戦です。

がん患者の心の孤立を防ぎ、社会との繋がりを守ります。これは単なる経済的支援ではありません。治療を理由にキャリアや夢を諦めることなく、自信を持って社会へ一歩踏み出すための「勇気のプラットフォーム」を築くものです。

こうした支援事業と平行して、逗子市が進めている包括的な相談支援体制により、経済的・心理的・社会的な課題に総合的に対応することで、がんと向き合う人の生きづらさを根本から解消していきます。

★ 自分らしく生きるため、今、あなたの力を必要とする人がいます！